

展示会スケジュール	2024/4	5	6	7	8	9	10	11	12	2025/1	2	3	4				
ギャラリーI 【特別展】	うつわの㊦㊧㊨展 一大きさから、やきものを解剖する— 3/16—5/26			リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界 —クラシックな名作とともに 6/8—8/25			生誕130年 荒川豊蔵展 9/14—11/17			人間国宝 加藤孝造 追悼展 11/30—3/16			人間国宝 鈴木藏の志野展 3/29—6/1				
ギャラリーII 【企画展】	展示室A (2F)	やきもの いきもの		4/20—6/30		東海の陶造形		7/13—9/29		美濃焼展 (セラミックバレー展) (仮称)		10/18—11/17		MoMCAグローイング・プロジェクト そだてる☆		11/30—2025/4/13	
	展示室B,C,D (3F)	令和4(2022)年度新収蔵品		4/20—6/30		令和5(2023)年度新収蔵品		7/13—9/29		コレクション・ハイライト		11/30—2025/4/13					
	プロジェクトルーム (2F)	Ways of Earth 10の1—日本陶磁作家交流展 10/18—11/17															

国際陶磁器フェスティバル美濃'24 ← 10/18—11/17 →

ギャラリーI 【特別展】

うつわの㊦㊧㊨展

一大きさから、やきものを解剖する—

Vessels large, medium and small

Anatomy of Ceramics based on size

2024年3月16日(土)—5月26日(日)



加藤土師萌(黄地金襴手菊文蓋付大師壺)1968年
岐阜県現代陶芸美術館蔵

小皿や大壺など、やきものには色々なサイズがあります。本展では、普段それほど気に留めることのない「うつわ」の大きさに着目し、その背景を「解剖」していきます。そして、最大の器として皇居宮殿所蔵の姉妹作、加藤土師萌《黄地金襴手菊文蓋付大師壺》を初公開します。

リサ・ラーソン展

知られざる創造の世界 —クラシックな名作とともに

Lisa Larson: Seen and Unseen

2024年6月8日(土)—8月25日(日)

スウェーデンの陶芸家、リサ・ラーソン。本展では、彼女の代名詞ともいえる素朴で温かみを感じさせる動物や人物をモチーフとしたおなじみの名作とともに、これまで紹介される機会のなかった一品物の作品や、ガラスやブロンズなど異素材を扱った作品、そして互いに大きな影響を与え、生涯をともにした画家で夫のグンナル・ラーソンの作品など、知られざる創作の側面も紹介します。リサ・ラーソンの広く豊かな創造世界をお楽しみください。



リサ・ラーソン(ライオン(マキシ))/アフリカシリーズ
本モデルは1968年から製造・本作品は1968-1980年頃に製造
© Lisa Larson / Alvaro Campo

「清流の国きふ」文化祭2024

生誕130年 荒川豊蔵展

ARAKAWA TOYOZO: The 130th Anniversary of his Birth

2024年9月14日(土)—11月17日(日)



荒川豊蔵《志野水指》1941年頃 岐阜県現代陶芸美術館蔵

近代日本の陶芸をリードした、岐阜県多治見市出身の荒川豊蔵(1894—1985)の人となり振り返る展覧会です。桃山時代の志野が美濃で焼かれていたことを、自ら発見した陶片により実証し、そして「志野」と「瀬戸黒」の二つの重要無形文化財の保持者(人間国宝)となった荒川は、現代に続く美濃陶芸の先駆者でした。陶芸をはじめ書画や収集の品々のほか、交友や暮らしぶりをうかがう資料などで、その制作姿勢やまなざしを紹介します。

人間国宝 加藤孝造 追悼展

Living National Treasure
KATO KOZO Memorial Exhibition

2024年11月30日(土)—2025年3月16日(日)

重要無形文化財「瀬戸黒」の保持者(人間国宝)で、2023年に世界した加藤孝造の回顧展です。加藤は10代のころより、画家を目指して日展(洋画)で入選を重ねますが、五代加藤幸兵衛、荒川豊蔵の指導によって陶芸の道に進み、穴窯での制作を追求しました。展覧会では、初期の洋画から岐阜県陶磁器試験場時代の鉄釉作品、独立後に終生挑んだ瀬戸黒をはじめ志野や黄瀬戸、さらには作陶の傍らで晩年まで描き続けた水墨画まで、そのすべてを紹介いたします。



加藤孝造《瀬戸黒茶盃》2013年頃 岐阜県現代陶芸美術館蔵

卒寿記念

人間国宝 鈴木藏の志野展

Shino Type by SUZUKI Osamu,
a Living National Treasure: In commemoration of his ninetieth birthday

2025年3月29日(土)—6月1日(日)

美濃陶芸の現在を代表する重要無形文化財「志野」の保持者(人間国宝)、鈴木藏(1934年生まれ)の力強い表現力を紹介します。薪窯でしかできないとされていた志野をガス窯で焼成し、美濃桃山陶の伝統表現を現代の心と技で革新してきました。卒寿を機に開催される本展では、70年以上にわたる作陶の軌跡をたどるとともに、鈴木藏の志野の真髄に触れていただきます。



鈴木藏《志野茶碗》2019年 個人蔵

ギャラリーII 【企画展】

やきもの いきもの

Ceramic Things, Living Things

令和4(2022)年度新収蔵品

Exhibition of the New Acquisition in 2022

2024年4月20日(土)—6月30日(日)

東海の陶造形

Artistic Ceramics in Tokai Region

令和5(2023)年度新収蔵品

Exhibition of the New Acquisition in 2023

2024年7月13日(土)—9月29日(日)

「清流の国きふ」文化祭2024

Ways of Earth

ハンガリー—日本陶芸作家交流展

Ways of Earth

2024年10月18日(金)—11月17日(日)

MoMCAグローイング・プロジェクト

そだてる☆

MoMCA Growing / Growing Project

コレクション・ハイライト

Collection Highlights

2024年11月30日(土)—2025年4月13日(日)

国際陶磁器フェスティバル美濃'24

美濃焼展(セラミックバレー展) (仮称)

International Ceramics Festival '24 Mino, Japan

Mino Ware (Exhibition of Ceramic Valley Mino, Japan) (tentative title)

2024年10月18日(金)—11月17日(日)